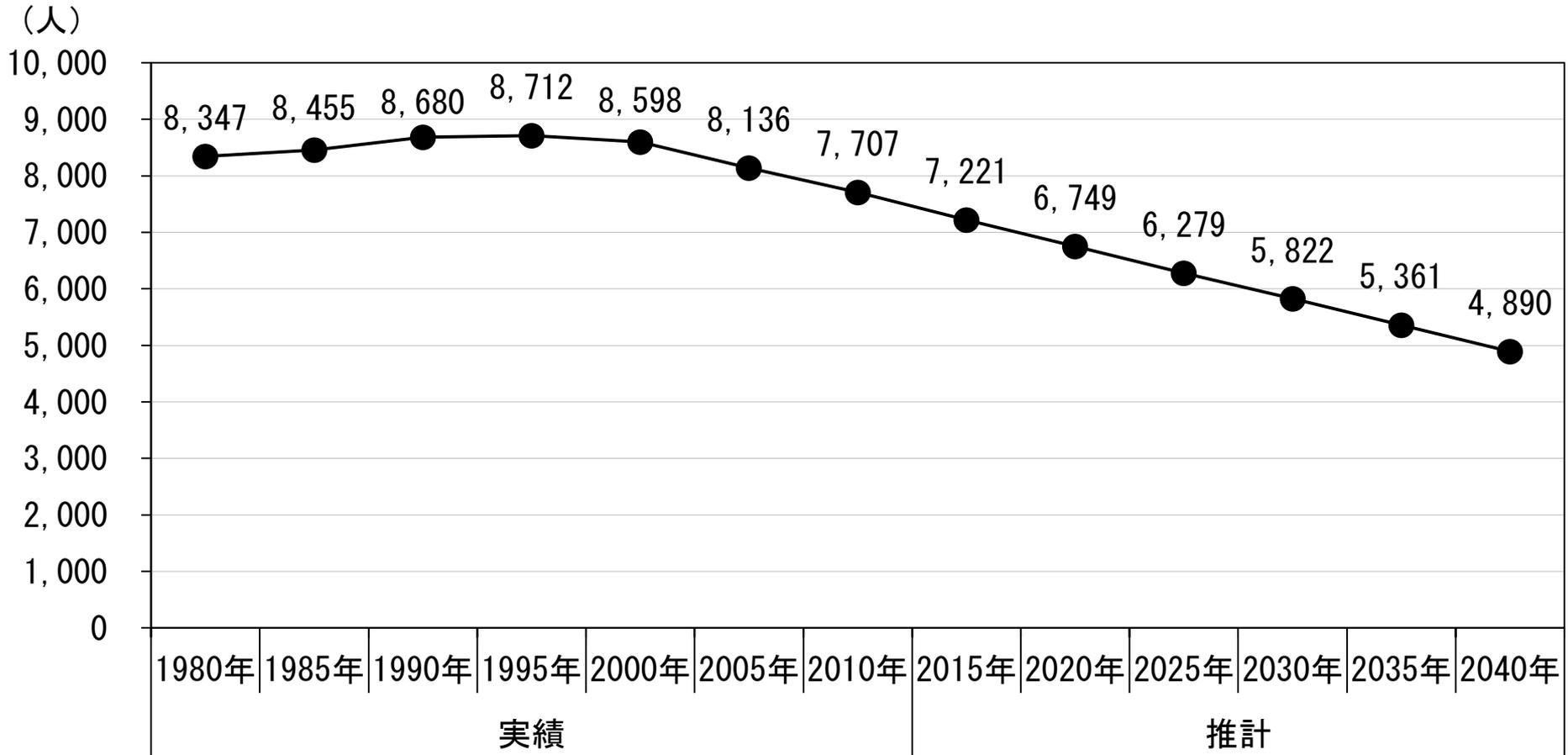


# 人口の推移

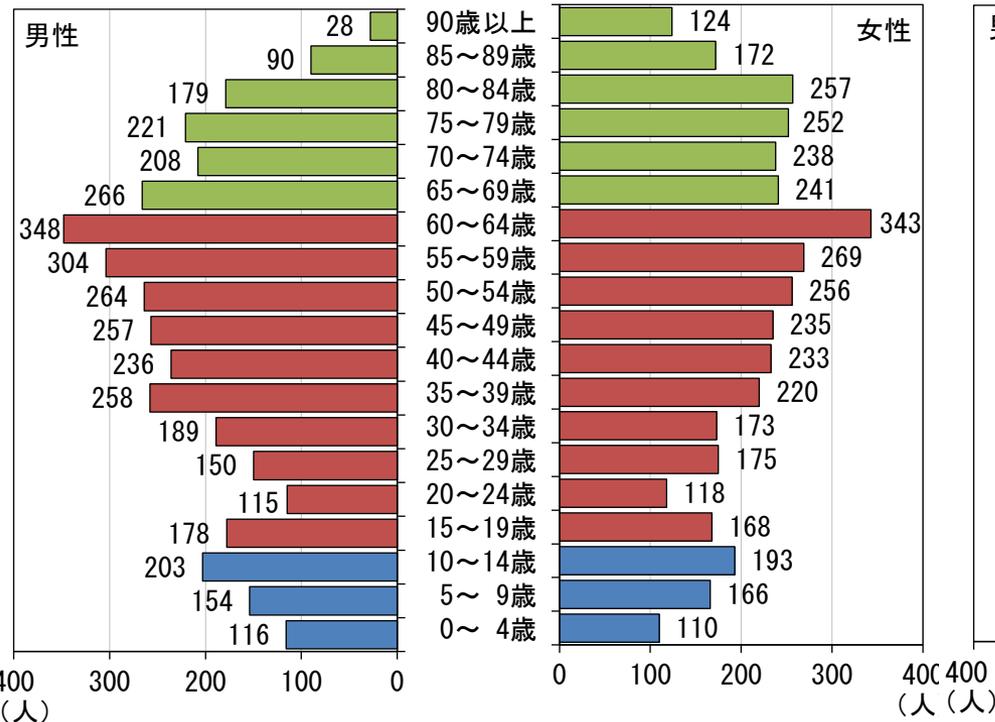


○1995年をピークに減少

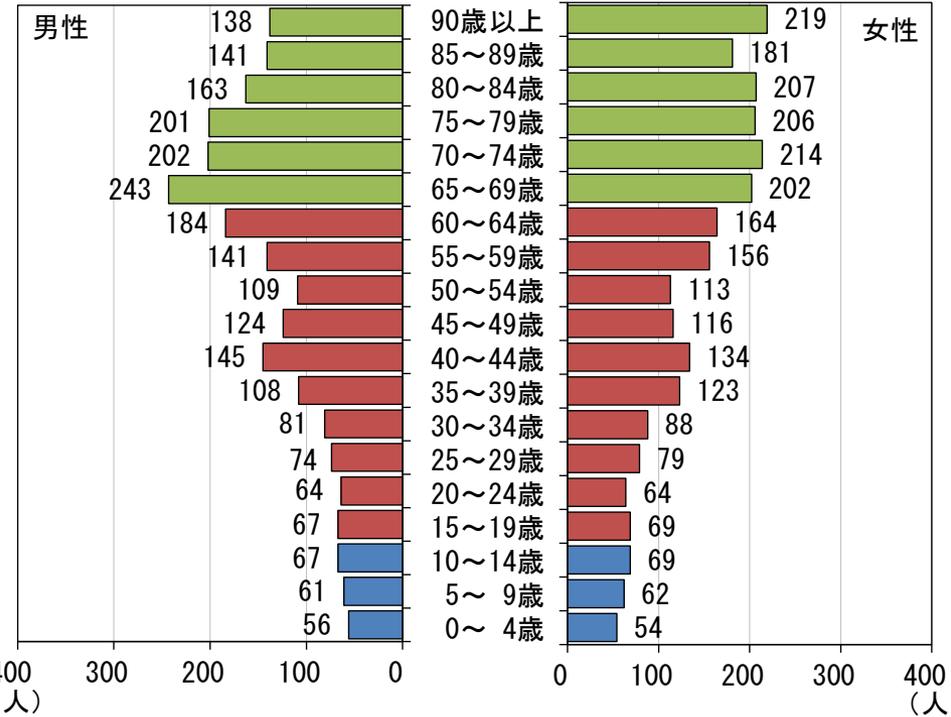
○現状のペース⇒25年後に5,000人を下回る<sub>1</sub>

# 年齢構成割合

## 2010年



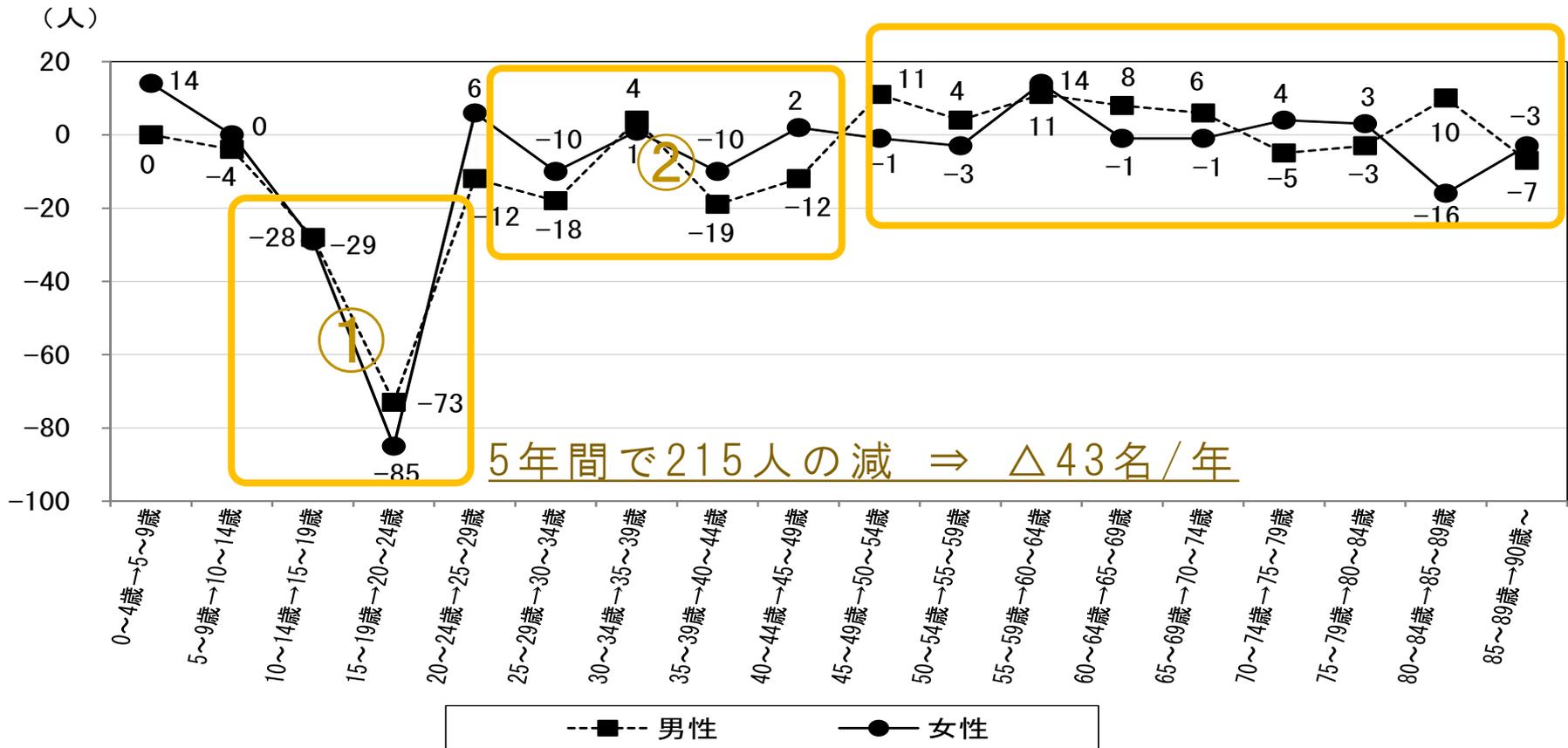
## 2040年



○生産年齢人口と老年人口の割合が逆転

○日本の大半の地方で同様の現象が発生  
⇒立科町は全国に比べ1.6倍の割合で進行<sup>2</sup>

# 立科町の年代別の人口変動（2005→2010）



- ①10代後半で減少（進学）した人口が戻らない
- ②20代・30代も減少：40代後半以降は安定

# 働く場所の創出：今後の人口動向を見据えて

## 働く場所の創出

### 移住希望者の希望する職種

■宮崎県調査（移住・Uターンに関する実態調査 2015、n=452 n=1,802）

【県内出身者】1位…情報 2位…公務 3位…サービス 4位…製造、医療福祉 8位…**農林漁業**

【県外出身者】1位…**農林漁業** 2位…サービス 3位…情報 4位…医療福祉 5位…製造

■茨城県調査（地方移住(Uターン)の希望に関する調査 2015.6~7、n=1,000）

【県内出身者】1位…サービス 2位…学術研究 3位…公務 5位…情報通信、**農林漁業**

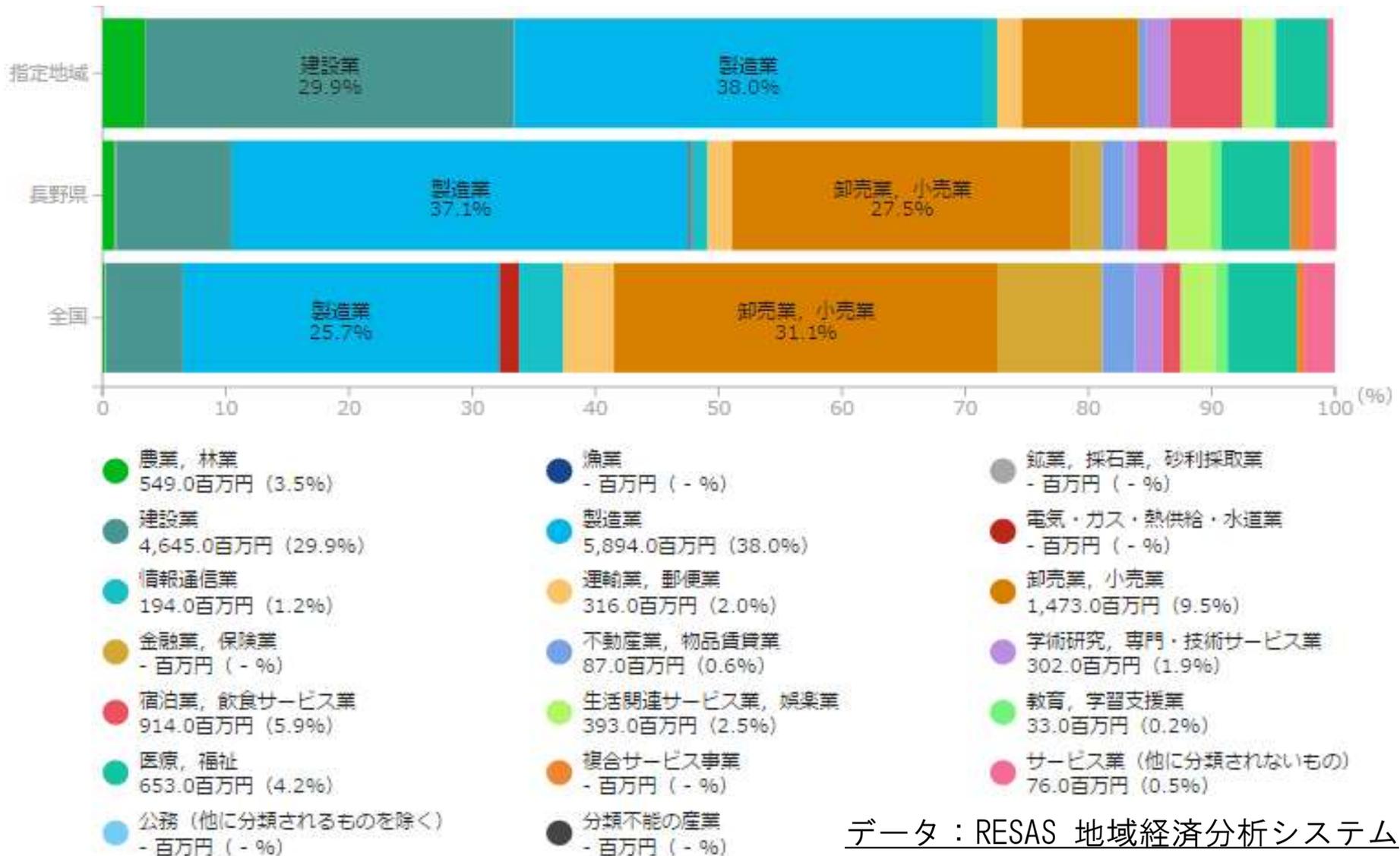
【県外出身者】1位…サービス 2位…公務 3位…医療福祉 5位…教育、建設 6位…**農林漁業**

### Uターン移住を進めていくため

- ①農林業の働き方改革（技術革新と導入の投資が必要）
- ②キャリアを連続して活かせる職場の創出

テレワークセンター（サテライトオフィス）の設置

## 立科町の産業別売上高（企業単位）2012年



データ：RESAS 地域経済分析システム

移住希望者ニーズにマッチングした職場が必要

## 地域経済循環図

2010年

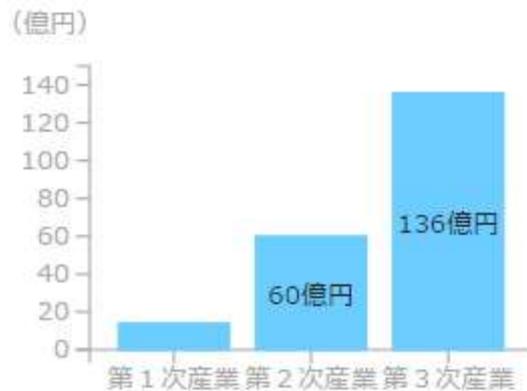
指定地域：長野県立科町

地域経済循環率

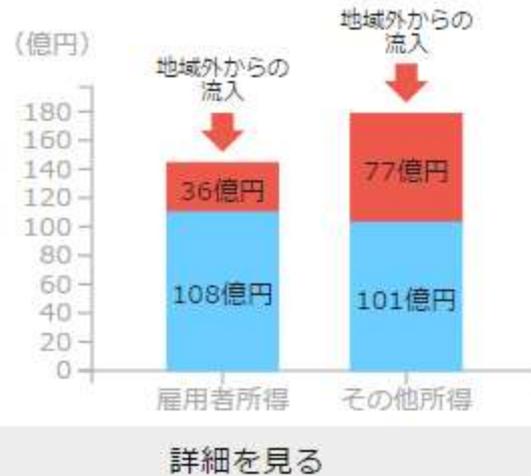
65.0%

所得への分配  
210

## 生産（付加価値額）

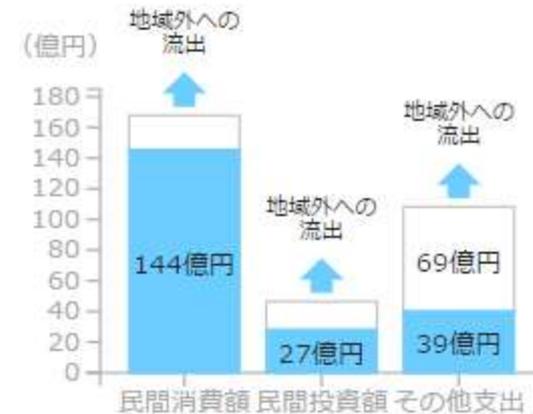


## 分配（所得）



所得からの支出  
323

## 支出

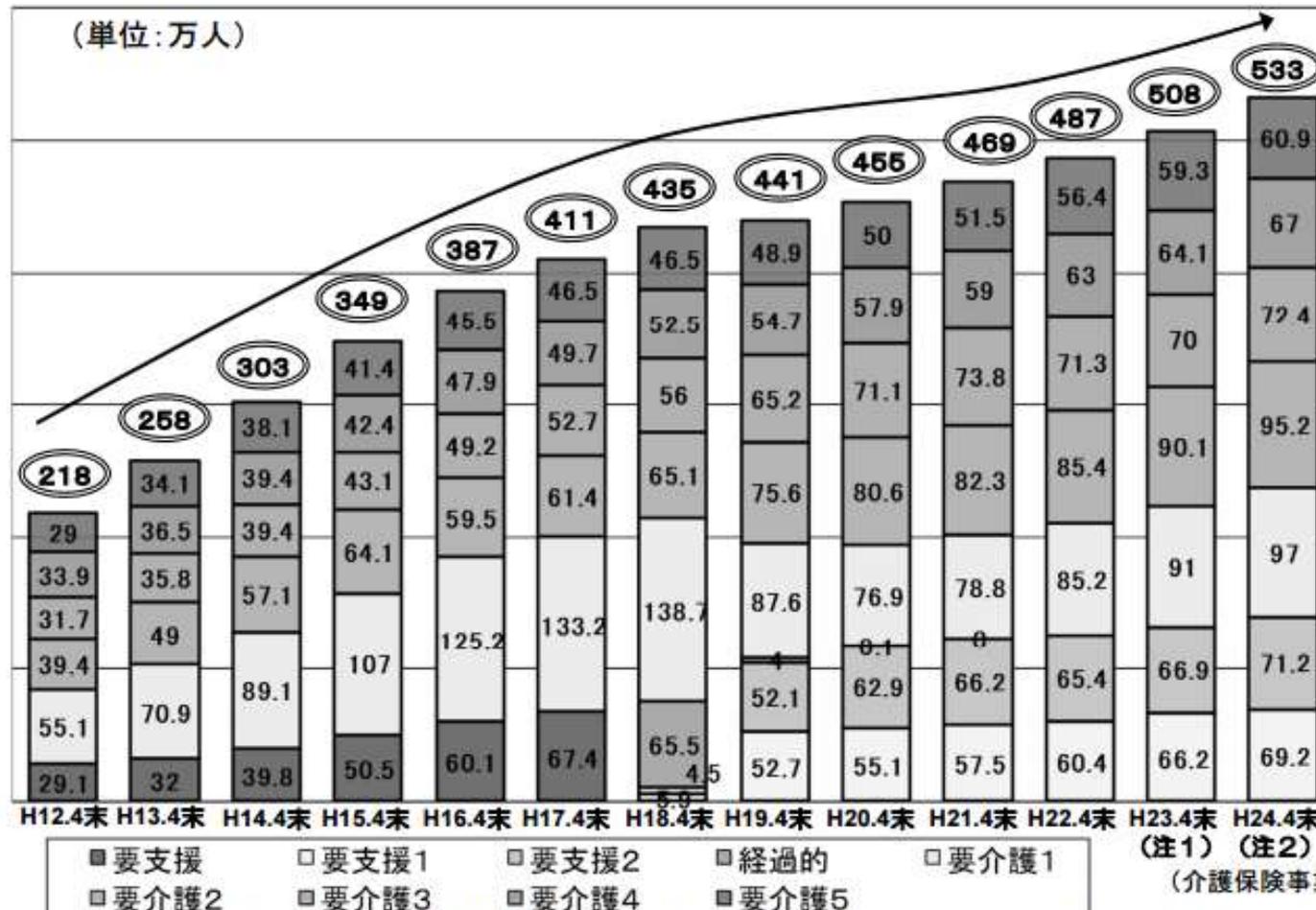


支出による生産への還流  
210

# 働く場所の創出：今後の人口動向を見据えて

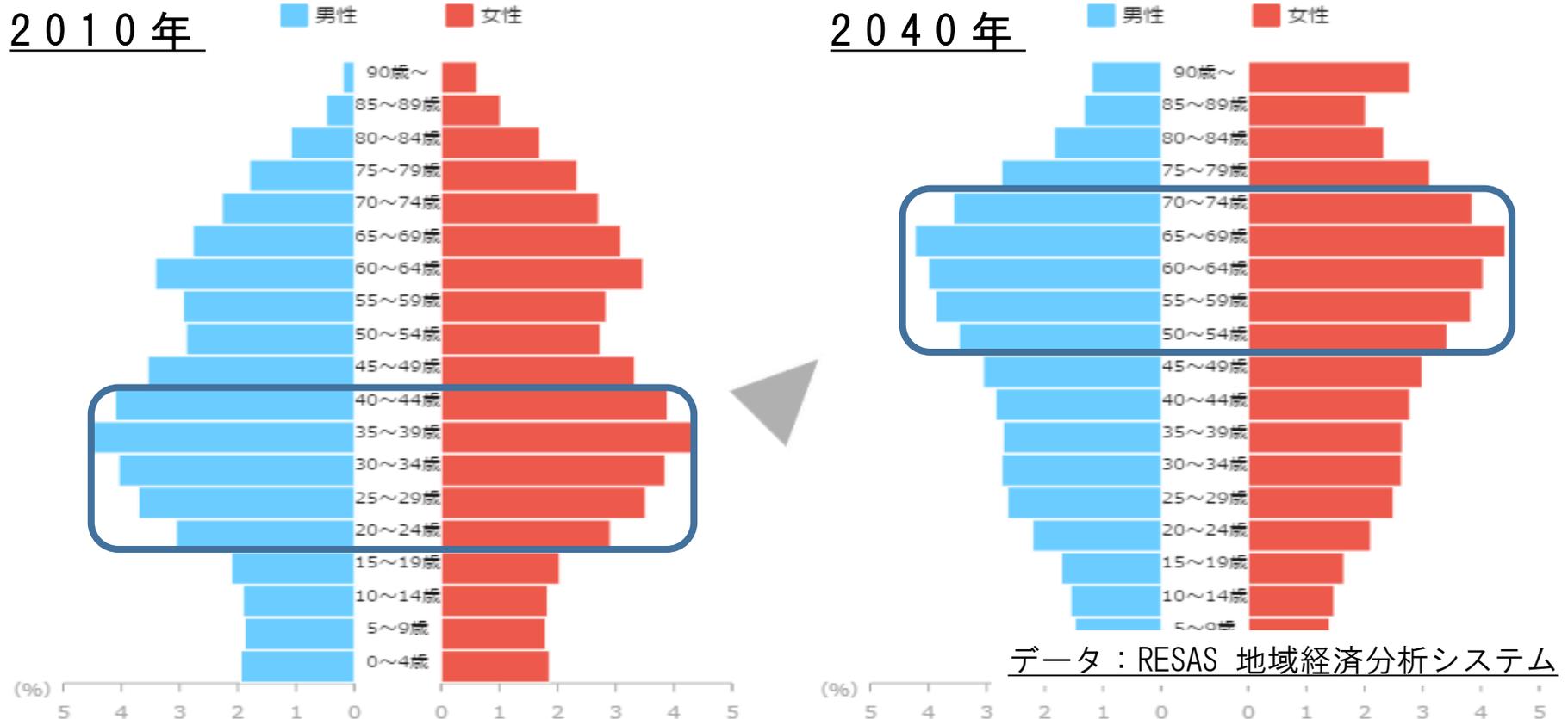
## 要介護度別の認定者数の推移

要介護（要支援）の認定者数は、平成24年4月現在533万人で、この12年間で約2.44倍に。このうち軽度の認定者数の増が大きい。また、近年、増加のペースが再び拡大。



# 働く場所の創出：今後の人口動向を見据えて

## 【東京都の人口構成】



都会に出た町出身者から【介護離職者】が急増

▶ キャリアを継続して活かせるワークスペースの準備 8